

# ジェンダー・イノベーションとは何か?

～その基本的考え方と実践例～

世の中に流通している商品、生産品、たとえば、自動車の安全ベルト装置やさまざまな医薬品の処方などは、知らず知らずのうちに男性規格を前提にしており、女性の身体には不都合なものが多いことが近年明らかにされつつあります。そこで、ジェンダーについて、より包摂的な視点から商品、生産品の開発を考え直していけば、ジェンダー平等を確保できるばかりでなく、さらには産業のイノベーションが起こりうることも期待されます。このような発想で、より包摂的で持続可能な産業の考え方をこの講演会を通じて皆様と共有したいと思います。

**無料**

要事前申込

令和5年 **6月22日(木)** 13:00～14:30 (3限)

講師:石井クツ昌子 お茶の水女子大学ジェンダー・イノベーション研究所長(お茶の水女子大学理事・副学長)



お茶の水女子大学理事・副学長(研究・国際交流・男女共同参画担当)。ワシントン州立大学で博士号取得後、カリフォルニア大学リバーサイド校で20年間教鞭を執り、2006年にお茶の水女子大学に着任。2020年にお茶の水女子大学名誉教授。2021年から現職。2022年からはジェンダー・イノベーション研究所長を兼務。専門は家族社会学とジェンダー研究で、1980年代初頭から日本、米国、北欧諸国にて父親の家事・育児や家庭内性別役割分業について研究を重ね、2012年に全米家族関係学会の国際的な家族社会学研究者へ贈られる「Jan Trost賞」を受賞。日本家族社会学会会長、日本社会学会理事、日本家政学会家族関係部会役員、日本学術会議連携会員、内閣府男女共同参画会議専門委員などを歴任。国際的活動としては、国連家族年の基調講演、国連専門家会議メンバー、全米社会学会や全米家族関係学会等の分科会委員長・委員などがある。著書に「[育メン]現象の社会学:育児・子育て参加への希望を叶えるために」(ミネルヴァ書房)、Comparative Perspectives on Gender Equality in Japan and Norway: Same but Different? (Routledge)など多数。

会場の御案内(定員:80名)

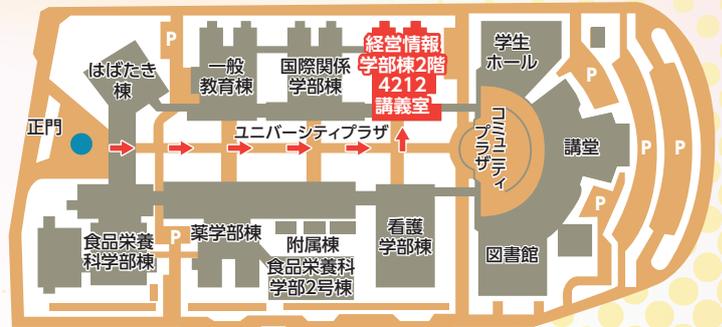
●静岡県立大学草薙キャンパス

経営情報学部棟2階 4212講義室(静岡市駿河区谷田52-1)

下記の申込書に必要事項を記載し、FAX又は郵送にてお送りください。ホームページ又は右記の二次元コードからもお申込みいただけます。



【申込期限】令和5年6月19日(日)



主催・お問い合わせ 静岡県立大学グローバル地域センター

TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603 <https://www.global-center.jp>  
E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

共催/県立大学SDGsイニシアティブ推進委員会、県立大学男女共同参画推進センター

ジェンダー・イノベーションとは何か?～その基本的考え方と実践例～

**会場参加申込書**

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、6月19日(月)17:00までに、FAXまたは郵送にて「静岡県立大学グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからもお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

**FAX:054-245-5603**

●TEL:054-245-5600 ●<https://www.global-center.jp>  
●E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

フリガナ 氏名			
会社・団体名			
御住所	〒	TEL:	FAX:
	ご勤務先 ・ ご自宅 ○をお付けください。		
Eメールアドレス			
今後、当センターからの講演会の案内を	希望する	希望しない	

\*FAX・郵便にてお申込みの方には、順次、参加確認の通知をしますので、御確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。

\*新型コロナウイルス対策のため、入館時の消毒に御協力ください。